

釧路市東部地区コミュニティセンター（コア大空）

開催日時	平成 29 年 10 月 27 日(金) 18:30～19:50
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	5 人
出席議員	<p>渡辺慶藏 議長</p> <p>鶴間秀典 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会）</p> <p>高橋一彦 議員（総務文教常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>山口光信 議員（経済建設常任委員会委員長）</p> <p>岡田 遼 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>松永俊雄 議員（都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員）</p>

質 問	国民健康保険料の収納率はどうなっているのか。
岡田議員	平成 28 年度の収納率は 86.1%となっており、前年度から 0.6%上昇している。
質 問	保険料を払っていないにもかかわらず、国民健康保険証をもらって病院にかかり安く診療してもらっている人がいると考えてよいのか。
岡田議員	いろいろな理由があるが、保険料を納入期限内に納めることができない方もいる。そのため、分割で支払いをされている方の中には、滞納繰越分となることもある。
高橋議員	個人事業主などの場合、経営状況によっては払うことができなくなる方もいる。市としても収納率を上げるための努力はしている。

質 問	全会一致で可決された陳情の内容について教えてほしい。
鶴間議員	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める件というもので、スキー場のリフトや重機などに使用する軽油への課税免除の措置を、平成 30 年 3 月末以降も継続してほしいという内容である。

質 問	水道料金を平均 19.5%値上げするということであるが、値上げのうち、老朽管の更新にはどの程度の財源を充てるのか。
松永議員	<p>釧路市の場合、水道管は約 920 キロメートルあり、そのうち約 650 キロメートルが老朽管となっている。老朽管全体を交換するには約 1,500 億円の費用がかかる試算もあるが、計画では年間 16 億円程度の予算で老朽管の更新を行い、10 年間で 150 億円という予算を見込んでいる。</p> <p>老朽管の更新を進めるためには水道料金だけでは賄い切れないため、資産維持費という新たな考え方が導入されている。今回は負担を軽減するため、市の予算から特別に 13 億 7,000 万円ほどを資産維持費として水道事業会計に繰り入れした結果、値上げが 19.5%に抑えられたという経過である。</p>

質 問	<p>広報くしろに Jアラートを活用した住民への弾道ミサイルの情報伝達とあったが、9月の Jアラート発令の際、白樺地区には防災無線がないようで、気づかなかった人が高齢者などに多く見られた。携帯電話でもアラートが受信できない機種があり、テレビなどをつけていない場合のためにも、今後設置の予定などはあるのか。</p>
高橋議員	<p>防災無線の整備は引き続き行っているが、今回の件については担当課に報告する。</p>

質 問	<p>議会の今後の取り組みとして災害指針の策定としているが、いつごろまでにつくられるのか。</p> <p>町内会で、災害があった場合の対応について議論しており、避難場所に集まった時点で使える広報班、医療班、食事班などの組織図をつくりたいと考えている。既に避難に関する組織をつくっている町内会があれば参考までに教えてもらいたい。</p>
渡辺議長	<p>市は災害対策本部を召集し対応しているが、議会としては議員がそれぞれの地域・部署で個々の判断で災害対策に取り組んでおり、市の災害対策本部の情報が議員へ提供される連絡体制となっていない。</p> <p>そのため、災害対策本部と議員が情報共有を行い、住民の命や財産を守る活動をしっかり議会としても行う必要があるということで、各会派の幹事長を中心に協議を進めている最中である。</p>

高橋議員	私も第二若草町内会におり、お年寄りや一人暮らしの方が多いため、災害があったときはお互い助け合っていないといけないという話はしている。武佐地域の場合は下町連町や地元の消防団などと連携し避難訓練を行うことや、集中豪雨のときや冬場の避難なども考えていく必要があると思う。
松永議員	津波対策として、身体の不自由な方や高齢者の避難訓練を浪花町や入舟の町内会では行っているようなので参考になると思う。

意見	Jアラートや災害の対策として、雪、津波、地震、台風、ミサイルなど、具体的な事例に分けて訓練を行うことができれば、どのように対処するかという指針ができると思うので、その指針を市から市民へ周知してくれると安心して暮らせると思う。
高橋議員	今回のご意見は市及び委員会においても話をさせていただく。

質問	質疑・一般質問の報告に、錦町立体駐車場に事前精算機の導入をとあったが、駐車料金が一律となるということなのか。
山口議員	現在の錦町駐車場の料金の支払い、乗車して駐車場を出る際に精算する方法であるが、今回の質問は乗車前に精算を行うことができるようにすべきという内容であり、料金が一律ということではなく、出庫の際の混雑を解消したいというのが質問の趣旨である。
意見	混雑していると排気ガスの臭いが気になる。
高橋議員	混雑解消もあるが、排気ガスの滞留を解消する目的もある。

質問	白樺地区のエゾシカ対策について、市街地で猟銃の使用ができないことはわかるが、広報くしろには駆除、捕獲、追い払いもだめと書いてある。どのように対応したらよいのか。
岡田議員	エゾシカに関しては、市の環境保全課が対応することになるが、市街地のため、わなも仕掛けられない、銃も使えないという状況である。エゾシカによる花壇の被害などの話も聞くが、対策としては自分で網

	をかけるなどの自衛策をとってもらえない。最近では春採湖周辺に住みついていて、新たな対策について議論を進めていきたい。
--	--

質 問	市営住宅で動物を飼っている人が多く、町内会の役員である自分に苦情が寄せられる。しかし、同じ町内会の人に注意できないので、市のほうで見回りなどができないか。
-----	---

山口議員	市営住宅での動物の飼育は禁止されているので、今回の件については担当課へ報告するが、苦情が続くようであれば、匿名の扱いで対応ができるので、市役所へ連絡してほしい。
------	--

質 問	市の空き家対策について議会ではどのような議論がされているのか。また、釧路市はコンパクトシティを目指しているが、空き家が増えているところを市が借り上げ市営住宅として活用することなど、釧路市独自の空き家対策を議会で考えていくことはないのか。他都市を参考にするとどうしても個性がないので、生活保護の取り組みのように釧路市独自の空き家対策を行ってはどうか。
-----	--

山口議員	現状の空き家対策としては、今年度から補助制度をスタートさせ、1件30万円を上限に解体費の補助を行っている。10件分程度の予算規模であるが、空き屋をそのまま放置することなく解体を促すシステムをつくったところであり、次年度も引き続き実施する考えである。 ご提案の空き屋の活用は、市も予算や所有権の問題などもあり現状では難しいと考えている。新たに住宅セーフティネットという制度の指針が国から示されたが、内容としては、空き家や空きアパートに対し、国と自治体が補助を出し合って有効活用していくもので、来年4月からの運用に向けて議論されている。釧路市としてもどのように活用できるか検討していきたいという状況である。しかし、人口減少により市営住宅を減らし、また、民間アパートの空き家も増えている中で市の管理戸数を増やすということは難しいと思われるが、ご意見として市に伝えたい。
------	--

意 見	例えば親が亡くなり残った住宅が築20年ぐらいで、子どもたちは釧路を離れているような場合、空き家になった住宅は壊すにもお金がかかるため、子どもたちにとっては邪魔なものである。放置されるのであれば長期滞在者に貸すなど活用ができないかという思いで聞いた。
-----	--

意見	空き家でも建物が建っていれば更地の場合よりも固定資産税が安くなるので、壊さないでそのまま残している住民もいるのではないか。
山口議員	固定資産税は建物があるかないかで金額が違う部分があるが、法律上、市ができる範囲は決まっており、国の抜本的な対策が必要だと感じている。居住者が亡くなって遺産相続がされていない場合、宙に浮いた状態となった住宅が今後増えていくと考えており、それに対して市が何かするという事は法律的に難しい。そういったことも踏まえて国が法整備も含めた対策をしてほしいところである。

質問	市として、空き家の数や、税金対策で建物をそのままにしている状況を把握しているのか。
山口議員	市としても状況は把握しており、空き家、空きアパートについても細かい数字ではないが大まかなものは押さえている。

意見	釧路火力発電所の話が進んでおり、住民説明会が行われている。環境面での住民の不安がクローズアップされているが、一方で、電力自由化があったからこそ火力発電所の建設という話になったということもある。太陽光やバイオマス発電などを含めて地域電力として火力発電を組み込み、住民サービスや地域への還元などを議会として検討してほしい。
高橋議員	国から、輸送費が高いので地元の石炭を使ってはどうかとの意見もあったが、今回の火力発電所の計画は議会も含め、地元の炭鉱を守るという想いであると思っている。 住民の方々が快適に生活できる話と、炭鉱を存続させて雇用を維持する話が双方あることは理解している。近隣住民の皆様には恐縮ではあるが、火力発電所については環境アセスメントの実施や住民説明をしっかりと行うよう議会としても市に伝えている。
鶴間議員	ご質問のあった地域電力としての取り組みは鳥取市などが先進地であり、議会でそのような質問もでていますが、まだ議論は進んでいない。

質問	石炭を燃やす火力発電所の建設を検討しているという理解でよろし
----	--------------------------------

	<p>いか。そうであれば石炭以外の燃料、例えば地域のごみなどを環境に配慮して燃やすなど、スペックを上げた発電所にすることは可能なのか。</p>
<p>高橋議員</p>	<p>石炭を利用する火力発電所の場合でも、石炭だけではなく木質燃料を混ぜる必要があるが、木質燃料の代わりにごみを燃やすことはできない。</p>
<p>鶴間議員</p>	<p>ごみ利用については、高山にある広域連合のごみ処理場では電力として使用している。</p>